

2021 年度教育研究活動報告用紙（様式9）

氏名	安藤 愛	職名	助教	学位	修士(看護学)(福岡県立大学 2017年)
----	------	----	----	----	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
看護学	精神疾患 ストレングス

研究課題
精神科看護の臨床現場におけるストレングスモデルの活用・継続に向けた課題の明確化

担当授業科目
精神看護学演習（前期）（看護学科） 精神看護方法論、精神看護学実習（後期）（看護学科）

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<p>授業科目名【 精神看護学演習 】</p> <p>コロナ感染症により遠隔授業を行った。感染者の状況により7月の授業は学内で実施できた。主に、実習に向けてペーパーペイシエントによる看護展開とプロセスレコードを活用した自己の対話の振り返り方法の伝授を主に行った。看護展開は、classroomのmeetを活用し3人1組でグループワーク形式で行った。アセスメントを発表する時間を設け、他学生との意見や考えの共有、意見交換ができるよう具体的な質問や進行を心掛けた。また、解説を参考に自分の行ったアセスメントを追加修正することで思考の整理を促した。臨床現場や精神科看護師の関わりがイメージできるようにDVDなどの教材を活用し、学生が事例の展開を行う過程で患者の気持ちを考え、成育歴や生活歴を踏まえたアセスメントが行えるように具体的な問いかけや解説を心がけた。さらに、1.2年次に行われる基礎看護学実習において臨地実習が経験できなかった学生であったため患者との対話時に配慮することを考えてもらいながら対話の演習を行った。</p>
<p>授業科目名【 精神看護方法論 】</p> <p>「パーソナリティ障害」「大人の発達障害」「強迫性障害」「適応障害」「身体合併症」をもつ人の看護を担当した。1コマ100分と長く、集中力の低下が懸念されたため授業資料は、大事な部分が分かりやすいように簡潔に明記するようにした。また、適度に自身の看護体験を語る時間も設け、国家試験に出やすいところを強調したり、患者の苦痛や生活のしづらさがイメージしやすいようにDVDや本を活用し、できるだけ学生へ患者の思いに関する問いかけを行うように心がけた。そして、特に現代社会で問題になっている事柄や病院での実際の状況などを伝え、自分の身近な問題として興味関心をもてるように工夫した。</p>
<p>授業科目名【 精神看護学実習 】</p> <p>コロナ感染症の影響により臨地に行けた実習は少なく、ほとんどが学内実習であった。臨地実習では、朝・昼・夕の検温、手指消毒・手洗の徹底、アルコールによる物品消毒などの感染予防をしっかりと行った。学生が自分の傾向と向き合い受け持ち患者と関係性を築き、患者の希望や思いを尊重した看護計画の立案・実施ができる</p>

よう学生の理解度に応じた問いかけを心がけた。学内実習では、できるだけ臨地実習と同様の流れにし、教員の作成したカルテをもとに事例展開を行った。教員が患者役を行い、看護計画の立案・実施までの6-7日間は毎日対話を行った。その際に、自己の対話の傾向を認識できるようにフィードバックを行っていった。また、精神科病院の様子がわかるようにDVDや写真の活用、臨床での具体的な事例を話すことを心がけた。さらに、臨機応変な対応ができるようにグループごとにレクリエーションの企画と実施を取り入れた。実践では、受け持ち患者以外の患者役も学生に行ってもらい調子悪化時や症状出現時の臨機応変な対応が経験できるように患者役の設定を考えるとともに学生自身が楽しむことの重要性に気づいてもらえるように関わった。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
福岡県看護協会会員 日本教師学学会会員 日本精神科看護協会会員 日本精神保健看護学会 日本看護科学学会会員 PAS セルフケアセラピー看護学会		2014年4月～現在に至る 2015年1月～現在に至る 2017年4月～現在に至る 2017年4月～現在に至る 2017年4月～現在に至る 2020年11月～現在に至る

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文) 精神科における長期入院患者のストレングスに焦点をあてた看護の特徴に関する文献研究	共著	2022年3月	西南女学院大学紀要 Vol.26	①事例研究12件を対象に精神科における長期入院患者のストレングスに焦点をあてた看護の特徴を明らかにするために文献研究を行った。 ②共著者名：安藤愛、後藤有紀、前田由紀子 ③p15-23
被害妄想に対する介入に関する文献レビュー	共著	2022年3月	福岡県立大学看護学研究紀要19	①国内において医療職が被害妄想に対して介入している先行研究を検討し、研究の動向と概観をまとめた。 ②共著者名：中本亮、安藤愛、宮崎初、坂部零 ③p35-43
(翻訳)				

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表)				教育研究業績 総数総数 (2022.3.31現在) 著書：3 (内訳：共3) 学術論文：4 (内訳：共4) 学会発表：3 (内訳：共3)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
高度実践看護師の患者との対話場面における沈黙の意味解釈と活用技法の検討	文部科学省	(○増満誠) (中本亮) (上田智之) (緒方浩志) 安藤愛 (森 雄太)	3,770,000

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
福岡県精神看護専門看護師活動促進協議会	事務	2021年4月～2022年3月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
1年アドバイザー（2021年4月～2022年3月31日） 研究推進委員（2021年4月～2022年3月31日）